

I C T 教育の推進体制



第4回 関西教育 I C T 展

令和元年8月2日

静岡県榛原郡川根本町教育委員会

強みを生かす

H28. 12

総合戦略の柱：町の未来を担う人材育成

IT人材育成4者協定締結

◎川根本町

◎京セラコミュニケーションシステム株式会社

◎株式会社ベネッセコーポレーション

◎東海ブロードバンドサービス株式会社

- ・ベネッセコーポレーション：ICT支援員
- ・KCCS：学習プラットフォーム（クラウド）
- ・TBBS：現地サポート対応

（町の広報誌より）



IT人材の育成に関する4者協定を締結

平成28年12月1日、役場本庁舎において、川根本町・京セラコミュニケーションシステム株式会社（KCCS）・株式会社ベネッセコーポレーション（ベネッセ）・東海ブロードバンドサービス株式会社（TBBS）の4者によるIT人材の育成を目的とした包括連携協定が締結されました。

町が進めている「ICT（情報通信技術）利活用による住民生活の向上」のためには、IT人材の育成が重要です。これからは、IT分野及びICT教育に実績のある3社と連携し、町民全世代のICTリテラシーの向上に向けた取り組みに着手します。

※包括連携協定：地域が抱える社会課題に対し、自治体と民間企業が双方の強みを生かして協力しながら、課題解決に対応するための大枠を定める仕組み。

※ICTリテラシー：情報通信技術を適切に理解、解釈し、使いこなすことができる能力。

各社の強みを生かして

各種事業を連携して推進

KYOCERA

【KCCS】 京セラコミュニケーションシステム
 ▷学習プラットフォーム、教材制作ツールの開発技術▷業界最先端の技術スタッフ

【ベネッセ】 Benesse
 ▷豊富なICT学校支援員の導入実績▷教職員研修への講師派遣

【TBBS】 TBB
 ▷通信インフラ、ネットワーク機器のサポート▷地元企業ならではのトラブル時の即時対応

◎学校におけるICT教育の推進

町内小中学校でのIT機器（タブレットなど）を活用した授業や、全国最新かつシンプルな考え方にに基づくICT教育を推進し、ICT教育のモデル地域を目指します。

◎町民向け各種講座の開催

小学生高学年以上を対象とする「ITキャンプ」などのプログラミング教室、一般の町民を対象とするインターネットに親しむためのタブレット講座、女性や若者世代を対象とする各種の講座や教室を定期的に開催し、町民全体のICTリテラシーの向上を図ります。

◎IT技術者の育成

町内に誘致したサテライトオフィスやテレワーク（在宅勤務など時間や場所に制約されない勤務形態）での就業者のための基礎的・専門的講座を開催します。またIT企業の職員研修を積極的に受け入れ、業界最先端の技術者との交流によるIT人材の育成も図ります。

川根本町 ICT教育推進事業の計画

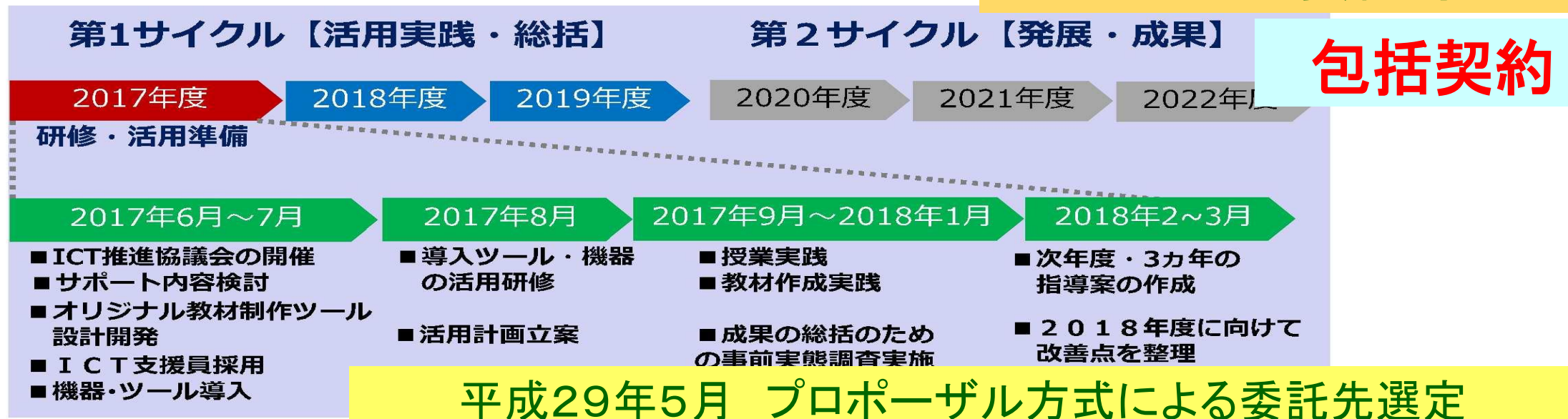
平成29年8月1日 スタート

協議会を組成

【基本的な考え方】

- 1、2017年度～2022年度の事業期間を2サイクルに分け、活用施策を策定する。
→2017年度の実質の活用は2学期以降となるため、準備・事例作りの期間と位置づける。
- 2、全校（教員・児童・生徒）を対象とし、教育施策の均質化を図り、学校間交流を促進する。
- 3、教育施策や導入機器・ソフト・サポートの構成は協議会を組成し検討・決定する。
→教育成果を測りやすく、可視化するために調査（アセスメント）を併用する。

【年度毎の位置づけ】



川根本町型 ICT教育の創造（中山間地のモデル）

先生方が気持ちよく取り組める体制を創る

トライアングルの体制を創ることで、本町ならではの特色あるICT教育を推進する。

主体

日常的な**双方向**の関係で、
同じ目標に向かう！

4小学校2中学校

顔が見える関係
⇒直接やりとり

「成果」 **「成功」 = 「子供の成長」**

活用・検証

要望

指導・助言

助言

常勤ICT支援員

要望

提案

支援

相談

町ICT教育事業協議会

提案

日常的インフラ支援

環境整備

環境整備

提案 助言 報告

町教育委員会

受託企業体

要望 相談 意見

全国から川根へ 川根から未来へ

川根に留学して、未来を拓こう



川根高校を体験しよう 7月25日(木)中学生一日体験入学 & 11月9日(土)オープンスクール
(詳細はHPで) (模擬授業、部活動見学、学校・留学生生活説明会) (授業・部活動見学、学校・留学生生活説明会)

*少人数授業によるきめ細やかな指導

*大学進学から就職まで多様な進路に対応した授業

*チューター制度(個別進路指導)による進路実現

*最新のICT機器(電子黒板機能付プロジェクター、タブレット端末、遠隔通信システム)の充実

*川根の郷「夢」プロジェクト(夢ぶろ)で川根地域の魅力に触れる体験学習

川根高校



川根留学生のための
3つの寄宿舍完備

寮費3万~4万円/月(朝・夕食、光熱水費込み)
エアコン完備
通学時間 南麓寮(男子)から徒歩1分
若者交流センター奥流(男女)から徒歩13分
よすが苑(男子)から自転車20分

川根本町が
全国からの留学生を支援

公営塾(月3千円)
インドサマーキャンプ ・カナダ研修
特別奨学金制度 ・医療費無料制度
川根留学生を応援するサポートファミリー

課程・学科	全日制 普通科
学校規模	令和元年度 生徒数139人(内68人が川根留学生。1年生6人が県外からの入学) ※運用で1学年を3学級(特進1、普通2)で展開しています。
進路状況 (過去3年)	大学(国公立) 千葉大(文学部)、横浜市立大(国際商学)、静岡大(教育)、静岡県大(食品栄養、他) 他 大学(私立) 中京大、聖隷クリストファー大、常葉大、日本体育大、近畿大、金沢工業大、名古屋商科大 他 短大(公・私) 静岡県立大学短期大学部、常葉学園短期大学、名古屋女子短期大学、関西女子短期大学 他 専門学校 島田市立看護、静岡工科自動車大学校、東海調理製菓、大原簿記情報医療 他

全国公募～生徒募集中～

県立川根高校 (ICT教育モデル校)

健やかな心身を育成するとともに、川根愛を育み、地域の魅力や課題を発見し、目と地域の未来を切り開く力を身につけた、たくましい人材を育成しています。



川根高校の「求める生徒像」

- 川根高校は、大自然に恵まれた落ち着いた環境の中で、親元を離れて自立した高校生活を送ることを推奨しており、次のような生徒を募集します。
- (1) 高い目標を持ち、主体的に学習に取り組もうとする向上心のある生徒
 - (2) 部活動や生徒会活動など、一人ひとりが活動できる場面において、個性や能力を伸ばしたいと思っている生徒
 - (3) 川根にある恵まれた地域資源を生かしたプロジェクト学習などをおこなって、問題解決能力を身につけ、社会貢献したいと思っている生徒



入学者選抜の概要(平成31年度実績) *県外からの「川根留学」

川根留学を希望する県外中学校出身の生徒は、「県外生徒特色選抜」に出願します。この選抜では、調査書、学力検査及び面接の結果等を総合的に審査して、合格者を決定します。募集割合は募集定員(80人)の10%程度でした。(募集定員は、最終的には11月末に決定します。)



私の挑戦 ～川根留学生在が今、がんばっていること～

僕は東京出身です。小学校から野球を始めた僕の夢は甲子園です。中3の時、知り合いから「川根高校」を紹介してもらい、3回見学をしました。最初は、正直、良さがなかなかわかりませんでした。でも、見学する度に、先輩方の優しさや少人数でしっかり勉強できる授業、これまでとは違う自然に囲まれた環境に魅力を感じ、川根高校で学び、野球をしたいと思うようになりました。入学した今は、より一層川根高校が好きになり、静岡県内の様々なところから集まってきた仲間や川根地域出身の仲間と一緒に甲子園を目指して頑張っています。(令和元年度入学生)



アクセス

【電車の場合】

JR静岡駅 (約30分) → JR金谷駅 … 大井川鐵道 金谷駅 (約60分) → 駿河徳山駅 徒歩(5分) → 川根高校
JR掛川駅 (約15分)

【自動車の場合】

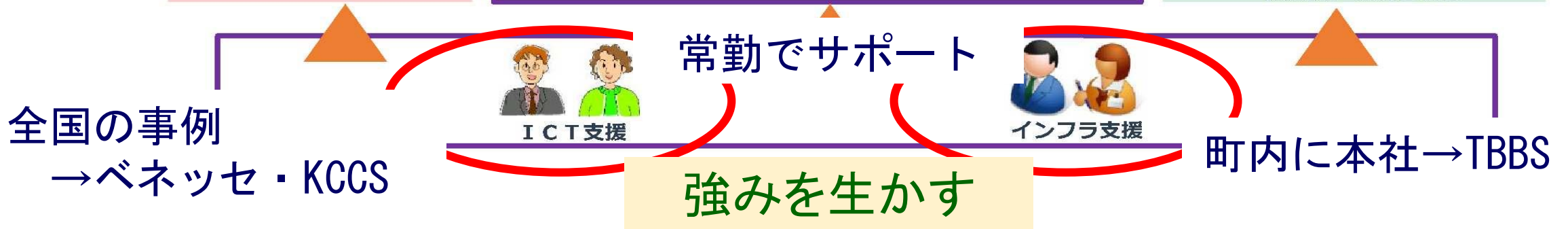
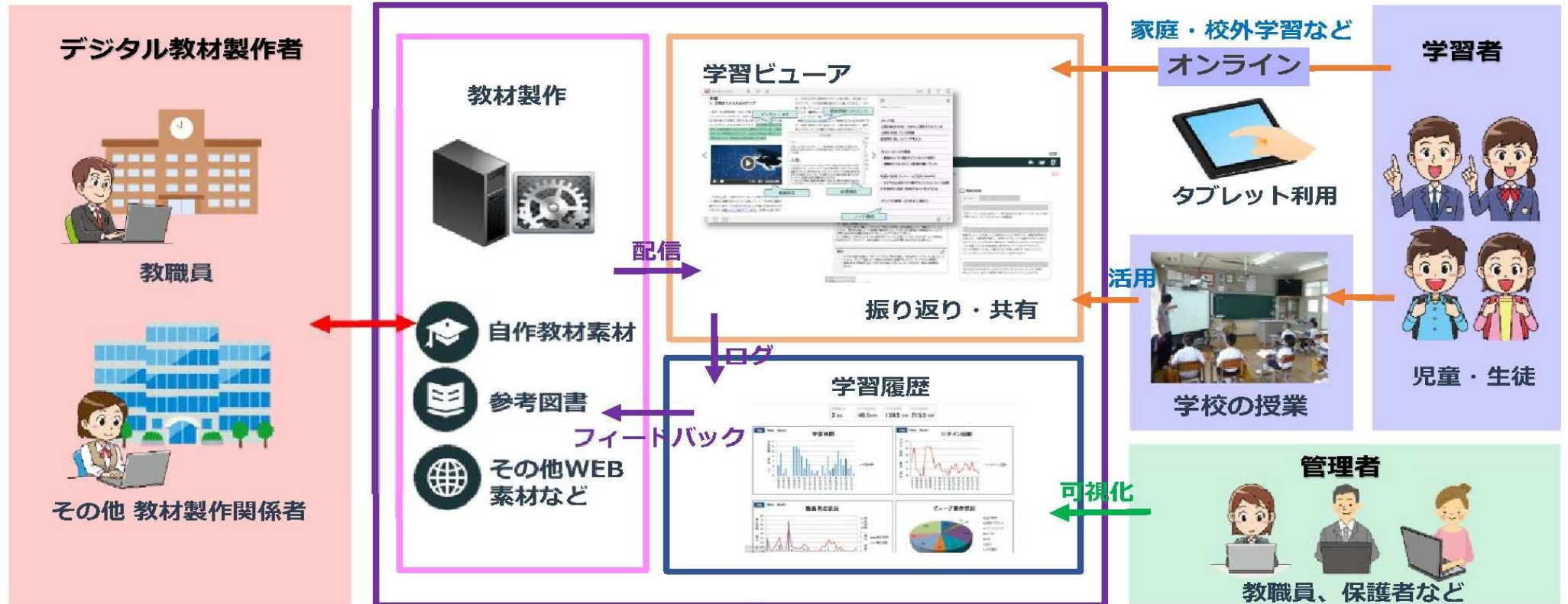
新東名 島田金谷IC (約40分) → 川根高校
東名 相良牧之原IC (約60分) → 川根高校



問い合わせ先 〒428-0301 榛原郡川根本町徳山1644-1 川根高校 ☎0547-57-2221 副校長まで

サポート体制（活用＋インフラ）

オリジナル教材の製作から学習結果の確認までが可能なプラットフォームのご提供と、その活用サポートの体制を整備することで、「ICT教育推進事業」の実現を推進する。



2019年もさらに進化！

I O T

Internet of Things

モノのインターネット

強みを生かし、

つながり、つなげて、

町の子どもたちにとって最適のICT教育を推進